



学校だより

令和4年8月29日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明

「充実した夏の経験」

がっこうちょう うすだ ひであき
学校長 薄田 秀明

なが なつやす お こどもたち げんき こえ がっこう もど なつやす がくしゅう せいかつ
長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。「夏休みは、パワー（学習・生活）
を充電するよう過ごしてください」「夏休みにしかできないような体験をしてください」と子どもたちを送り出し
ましたが、それぞれ、どんな体験をしてきたのでしょうか。パワーを充電し遅く、笑顔が輝く子どもたちから
「充実した夏の経験」をたくさん聞かせてほしいと思っています。

さて、「校長先生もパワーを充電してきます」と子どもたちに宣言してスタートした私の夏休み、「39日間
で40万歩」を目指すことにしました。

40万歩を歩くには、1日平均1万1千歩、歩く必要があり、その数字が思った以上に大変であることが、歩
き始めて1週間ほどで分かってきました。子どもたちに宣言をしてしまつてことを後悔したり、プレッシャーを感
じたり、加えての猛暑、歩くことが「楽しい」とは思えないようになってきました。

そんなある日、少し早起きをして「何か楽しみを見つけて歩いてみよう」と家を出ました。この日は、歩く道も
初めから決めるのではなく、途中の曲がり角を自分で選んで進んで行きました。

「この先はどうなっているのだろう」と好奇心をもって進んでいくと視界が開け、雄大な富士山に出会うこと
ができました。さらに進んでいくと赤、ピンク、白の百日紅の花が、思っていた以上に街の中に咲いていること
に気づいたり、道ばたに凜と咲く百合の花を見つけたりと普段気づくことのない新たな発見があり、好奇心を
くすぐられた日でした。次の日も早起きして、昨日とは違う道を選んでみました。かつては空き地だったところ
にアパートが建っていたり、通り抜けられた道が行き止まりになっていたりと家の周りの変化にも気づくことが
できました。

「やらされている」ことから「自分で決めて、自ら進んでやる」ことへの変化が私の中で起きました。すると
今まで「うるさいなあ」と思っていた蝉の鳴き声も心地よいBGMになってきたり、「今日は何歩歩かねば!」と
歩数にこだわった気持ちも陰を潜めたりと歩くこと自体が楽しくなり、結果として、たくさん歩くことができるよ
うになってきました。発想も柔らかくなり、暑い昼間は、日傘男子を楽しみました。雨の日には、スーパーマーケ
ットやデパートでの買い物も楽しいウォーキングに変わっていききました。

さらに、歩いていて、ホッとする気持ちになる場所は、自分が子どもの頃、見たり、遊んだりした場所によく似
ている原っぱであったり、川沿いの道であったりと自分の「原風景」との出会いであることにも気づくことがで
き、40万歩への挑戦し達成したことは、とても有意義な体験で今年の夏の素敵な思い出になりました。

好奇心を引き出し、めあてをもって自ら主体的に学ぶことのできる学校生活の更なる充実と子どもたちに
とって原風景となるであろう「南小学校」での豊かな体験や地域の人々とのふれ合いの重要性についての
思いをより一層強くした夏でもありました。

前期後半が今日から始まりました。保護者の皆様、地域の皆様、8・9月も本校の教育活動にご理解とご
協力をお願いいたします。